

|                  |   |
|------------------|---|
| Title            | ON時間OFF時間   |
| Sub Title        |   |
| Author           |   |
| Publisher        | 慶應義塾大学工学部   |
| Publication year | 2012  |
| Jtitle           | 新版 窮理図解 No.10 (2012. 7) ,p.6- 6   |
| JaLC DOI         |   |
| Abstract         |   |
| Notes            |   |
| Genre            | Article   |
| URL              | <a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000010-0006">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000010-0006</a> |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 能崎幸雄 研究者への軌跡

高校卒業から慶大に入学し、学位を取得して  
九大助手になるまでの9年間を振り返ってみました。



### 高校時代

高校では、好きな科目（数学と化学、少しだけ物理）以外ほとんど勉強しなかった。周りの友人と同じく医学部志望だったが、理系科目だけで合格できるほど甘いわけがなく、進路を迷っていたとき、学校の掲示板で慶大理工学部の指定校推薦を見つけた。これが慶應人生の始まり。



### 慶大入学、友人に誘われ物理学科へ

バブル経済全盛期で、日吉キャンパスは華やかな雰囲気だった。誘われるまま入ったテニスサークルで物理学科志望の友人と出会い、気がつけば物理学科に進学。専門科目のレポートに追われながら、週2回の物理学実験の後はいつも「ひょうら」で反省会（飲み会）。



### 宮島研究室に配属

電気抵抗ゼロや磁気浮上など面白い現象を示す「超伝導」に興味をわき、「超伝導・磁性」を専門とする宮島研究室へ。卒論提出前にカラオケに行き、肺に穴が開き、入院・手術を余儀なくされるものの、恩師・先輩・友人そして両親の温かいサポートにより無事卒業。



### 修士課程

助手の大谷先生が夏期休暇中にフランスの国立研究所（グルノーブル）へ実験に行くと聞き、迷惑を顧みず一緒に連れて行ってもらう。先生の友人の研究者たち（写真）と共同生活をしながら、超伝導薄膜を用いた実験結果の解析に没頭。将来、研究者になりたいと固く決心。



### 貴重な恐怖体験

グルノーブルは、周囲が岩山だらけでロッククライミング天国。大の高所恐怖症だが、フランス人研究者から毎日ロッククライミングに誘われた。最後は、フランス滞在の記念にと雪山登山。彼曰く初心者向きの山らしいが、本当に死ぬかと思った。忘れられない思い出だ。



### 博士課程

研究者として目標にしていた大谷先生が転任。これを期に、新しい研究テーマに取り組む。多くの失敗を積み重ねながら、強磁性薄膜の微細加工に成功。その磁気構造解析の研究で学位を取得。研究がうまく行かないとき、一緒に“焼き肉食べ放題”に行ってくれた後輩たちに感謝。